

平成 20 年度助成研究の概要

厚生労働省など、国の機関及び公益法人などの公募により採択された研究です。

本年度は、厚生労働省科学研究費補助金事業 1 課題及び民間財団補助金事業 1 課題の計 2 課題が採択され研究を実施しています。

| No. | 研究員 | 所属 | 研究課題（概要） |
|-----|------|--------------------------|---|
| 1 | 今井光信 | 微生物部 ウイルス・リ ケッチア G | 厚生労働省科学研究（エイズ対策研究事業） HIV 検査相談機会の拡大と質的充実に関する研究（平成 18～20 年度） 本研究班は、HIV検査相談の機会を活用して、HIV感染者の早期発見・早期治療と感染予防・感染拡大の防止を計るため3年計画で下記の研究を行っている。 (1) HIV 検査相談機会の拡大に関する研究 (2) 相談・カウンセリングの質的充実に関する研究 (3) HIV 検査技術の質的向上に関する研究 |
| 2 | 関戸晴子 | 理化学部 食品化学 G | (財) 大同生命厚生事業団 化学性食中毒の原因究明における分析の迅速化と食育への取り組み 自然毒に起因する中毒事例は多い。特にジャガイモ中のソラニン類による集団食中毒は毎年のように報告されている。そこで今回、食中毒の早急な原因究明に求められる迅速で正確な分析法を開発することを目的とした。また、ジャガイモの部位別ソラニン類濃度分布等を把握し、調理の際の注意点等を地域や学校等に対して情報提供することにより、食育の推進及び植物性自然毒による化学性食中毒防止に寄与していく。 |